

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）  
2019年度（令和1年度）第3回理事会 議事録

[1] 開催：2019年9月19日（木）13:00～18:04

[2] 場所：JTU事務局（東京都新宿区）会議室

[3] 出席者（理事24名、監事2名）：

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、仲井公哉、大塚真一郎、中山正夫、  
岸田吉史、鈴木貴里代、山倉紀子、和田知子、関根明子、山根英紀、  
富川理充、豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀、山倉和彦、小林洋、吉田隆雄、  
宮本悦子、大野徹雄、須山浩光、加納修二、宮城直久（以上、理事）  
萩原政吉、秋山智昭（以上、監事）

- ・ 専門委員出席（1名）中山俊行（オリンピック対策チームリーダー）
- ・ 事務局出席（5名）佐藤政人、坂田洋治、児玉健太、土屋佳司、島村直子

[4] 議事の経過

JTU定款第6章（理事会）第34条（決議）により、事務方が出席理事ごとに確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶の後、定款第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名した後、議案の審議に入った。

第1号議案）前回理事会の議事録

2019年度第2回理事会・臨時理事会の議事録案について、メール回覧済であることを事務方が報告した後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・ 承認事項）2019年度第2回理事会・臨時理事会（2019年6月26日開催）の議事録案

第2号議案）理事候補追加推薦方針

先の定時社員総会で承認されたJTU定款第21条（役員の設置：理事20名以上30名以内）により、現在理事数26名に理事4名を追加できる。この推薦方針について、岩城会長より説明があり、これに係る質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ満場異議なく承認可決した。

- ・ 承認事項）理事候補の選定と推薦方針

スポーツ庁のスポーツ団体ガバナンスコードに基づき、女性理事を優先的に候補とし、アスリート委員会からは男女各1名計2名を理事に推薦する。以上の基本方針による理

事候補 4 名を次回以降の理事会で審議し、来期の定時社員総会に諮る。

#### 第 3 号議案) 東京 2020 大会関連

標題に関する ITU ワールドトライアスロンオリンピッククオリフィケーションイベント (2019/東京 OQE) について、鈴木常務理事と大塚専務理事から報告があった。2020 東京オリンピック・パラリンピック (東京 2020) に向けた各課題について、東京 2020 大会組織委員会及び国際トライアスロン連合 (ITU) と連携して対応する方針が説明され、これに係る質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

##### ・承認事項) 東京 2020 大会への対応策と方針

\* 東京 OQE での課題 (暑熱・水質・水温等競技環境、地域連携、競技キャスト対応、競技関連設営など) を精査し、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、組織委員会及び ITU と連携し課題に対応する方針。

#### 第 4 号議案) 強化チーム

標題について、東京 OQE 実施後の JIU オリンピック及びパラリンピックの各対策チームの進行状況について、山倉紀子常務理事の報告後、中山リーダーと富川理事から、オリ・パラについての現状分析と今後に向けた強化方針提示があった。その後の質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

##### ・承認事項) オリンピック対策チーム・パラリンピック対策チームの強化方針

##### ・報告事項 1) オリンピック対策チーム関連

中山リーダーから、ワールドカップ、世界トライアスロンシリーズ、同グランドファイナルについて報告があった。女子は、転戦による体調管理が難しく、スイムから期待どおりの結果を出せなかった。東京 2020 に向け、故障回復や体調管理を励行し、バランスを取りながら立て直す方針とする。男子は、バイク・ランで急成長する世界の力に及ばず、好結果につながらなかった。東京 2020 に向け、選手個々に最適な管理育成を再構成する。

##### ・報告事項 2) パラリンピック対策チーム関連

富川理事 (パラリンピック対策チームリーダー) から、パラトライアスロンワールドカップ東京大会 (東京 WC) 及び世界選手権の報告があった。東京 WC ではスイム中止のデュアスロンとなったが好成績を残せた。ローザンヌ世界選手権直前に、PTWC 土田選手が ITU 要請による再クラス分け検査を受け、PTWC 1 から PTWC2 に変更された。本変更については和田理事から補足説明があった。当対策チームは、東京 2020 大会に向け、各選手ともにパラリンピック出場に必要なポイント獲得を明確にし、強化推進を確実化する。

#### 第5号議案) 2021以降の選手強化指針の策定方針

東京2020大会以降の選手強化の指針の策定方針について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

##### ・承認事項) 東京2020大会以降の選手強化指針の策定方針

・JTU執行部会(会長・副会長・専務理事・常務理事)案を次回理事会(12月6日)に提出する。

#### 第6号議案) 専門委員会関係

アスリート委員会の在り方及び専門委員会委員長・リーダー一覧について大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

##### 承認事項1) アスリート委員会の在り方

アスリートの自主的意見をもとに運営する方針。委員は自薦他薦。都道府県競技団体で推薦できる強化指定選手を募る。アスリート委員会策定後、男女1名を理事候補とする。今後、アスリート委員会内で委員長副委員長の選任を目指す。

##### 承認事項2) 2019-2020 専門委員会の委員長・リーダー一覧

###### 1) 強化関連グループ

強化チーム: オリンピック対策チーム(リーダー: 中山俊行)、パラリンピック対策チーム(リーダー: 富川理充)、マルチスポーツ対策チーム(リーダー: 中島靖弘)、

トータルサポート委員会(委員長: 島田佳久)、情報戦略・医科学委員会(委員長: 森谷直樹)、コーチ委員会(委員長: 相澤義和\*新任)

###### 2) 事業資格グループ

総務・財務委員会(委員長: 仲井公哉)、事業企画委員会(委員長: 西沢潤\*新任)、国体委員会(委員長: 山倉和彦)、技術委員会(委員長: 伊藤一博)、審判委員会(委員長: 川添勝)、指導者養成委員会(委員長: 矢野龍太郎)、セミナー・フォーラム委員会(委員長: 岸田吉史\*新任)

###### 3) 普及・促進グループ

メディカル委員会(委員長: 笠次良爾)、アンチドーピング委員会(委員長: 小林洋\*新任)、アスリート委員会(委員長: 調整中)、女子委員会(委員長: 石井なおみ)、エイジグループ委員会(委員長: 斉藤大輝)、高校生普及委員会(委員長: 園川峰紀)

#### 4) 管理対応グループ

コンプライアンス委員会（委員長：中山正夫＊新任）、倫理委員会（委員長：森崎俊紘）、危機管理委員会（委員長：國分孝雄）、第三者委員会（臨時委員会）、調査委員会（臨時委員会）、ガバナンスコード策定プロジェクトチーム（座長：大塚眞一郎＊新任）、安全対策プロジェクトチーム（調整中）、将来構想プロジェクトチーム（調整中）、通報相談窓口（担当：荻原政吉）

・補足事項）委員会委員は、1人1委員会の原則によるが、新設委員会については、各委員会との相互連携性が高く、例外的適用を考慮する。基本はいずれの委員も理事会の了承を得るものとする。

#### 第7号議案）指導者養成委員会

標題について、山倉和彦理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

##### ・承認事項 1) JTU 指導者資格制度改定案

・補足説明）公財）日本スポーツ協会（JSP0）の公認指導者資格の改定が行われ、各種資格の名称、資格取得に係る講習時間・内容が変更となった。

JSP0 公認指導者資格：旧名称）指導員、新名称）コーチ 1

JTU 公認指導者資格：旧名称）初級指導者・中級指導者、新名称）専門科目修了者（仮）

#### 第8号議案）日本U23・U19選手権での海外選手受け入れ方針

標題について、競技力向上と国際連携強化のために有効であることが山倉紀子常務理事から説明され、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項）U23 及び U19 日本トライアスロン選手権での海外選手オープン参加を受け入れる。ただし、U15 日本選手権では、これを適用しない。実施計画は次回理事会に提出する。

#### 第9号議案）JTU エリート女子強化支援事業要項変更案

標題について、山倉紀子常務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項 1) JTU エリート女子強化支援事業変更案。女子のオリンピック出場 3 枠確保のために、従来の合宿支援に大会派遣経費を加える。

第10号議案) 普及関連

オールキッズ大会、女子アスリート普及及び高校生大会の実施状況について、大塚専務理事、園川理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項1)「TMTU主催/第2回女性アスリート・パラアスリートのパフォーマンス向上と障害予防(10/20)」の後援

第11号議案) U19・U15キッズ向け保護者対応(案)

日本U15選手権(長良川)、全国高校生選手権(南丹)で実施した保護者向けセミナーの実施状況と今後の展開案について、岸田常務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) セミナー・フォーラム委員会の方向性

保護者のニーズに応えられる保護者向けセミナーを継続的に実施する。各年代でトライアスロンを継続できるように、小1から高3までの12年間に適用できるカリキュラムを作成し、指導者養成との連携による活動を促進する。

第12号議案) マルチスポーツ対策チーム関連

標題について、山倉常務理事から説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) 2020年世界/アジアデュアスロン選手権エリート日本代表選手選考基準(案)

承認事項2) 2020年JTUデュアスロン強化指定選手制度(案)

承認事項3) 2020年JTU主催・共催デュアスロン大会エリート出場基準(案)

承認事項4) 2020年ITU世界クロストライアスロン選手権日本代表選手選考基準(案)

承認事項5) 2020年ITU世界アクアスロン選手権(エリート、U23、ジュニア)日本代表選手選考基準(案)

承認事項6) 2020年JTUロングディスタンス トライアスロン強化指定制度(案)

承認事項7) 2020年ITU世界ウィンタートライアスロン選手権(エリート、U23、ジュニア)日本代表選手選考基準(案)

第13号議案) ANOCワールドビーチゲーム日本代表(案)

標題について、山倉紀子常務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 第1回ANOCワールドビーチゲーム(2019/ドーハ)アクアスロン競技日

本代表選手。女子：井出樹里※（スポーツクラブ NAS／神奈川）、男子：渡部晃大朗（カンパニオ／千葉）、監督：中山俊行（オリンピック対策チームリーダー／神奈川）

※後日、ケガの回復状況が遅れたため JOC 承認を受け欠場となった。なお、大塚専務理事（JOC 理事他）が、日本選手団の団長に指名されたことが報告された。

#### 第 14 号議案）フェアプレイガイドライン／懲罰規程の方針

倫理委員会の規定変更の必要性について、中山常務理事から説明があった。相談窓口  
に寄せられた問題案件は倫理委員会を開催し、当事者を招へいしなければ対応できない。そのため、案件のあった所轄加盟団体が対応することが現実に即しており、該当規程の変更案を提出予定である。これを受け、大塚専務理事から、懲罰に係る規程類は、現行の諸規程に明記されているが、今後、さらに全体を統合した諸規程とすることが提案された。以上の方針について、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項）フェアプレイ、倫理、相談窓口、懲罰に係る諸規程の整備・修正に係る策定方針

#### 第 15 号議案）JTU 短中長期計画

標題に関連し、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項）公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）短中長期計画「トライアスロン=健康スポーツ計画」（クリーンスポーツ/一億総スポーツ参画）

### [5] 報告と提案

#### 1) 予算執行状況報告

2019 年（平成 31 年）4 月 1 日からの収支執行状況表（予算・実績比較）について、大塚専務理事から報告があった。

#### 2) 国際関連報告

和田理事より、国際協力連携（MOU）締結国の現況、ルワンダ普及サポートプロジェクトの実施状況、IOC オリンピックソリダリティによるパナナムスポーツ加盟 3 か国の選手・指導者招聘事業、豪日ジュニアデベロップメント基金のジュニアキャンプ実施、ホンコンチャイナからパラチームの受け入れ、USA トライアスロンから T0 の Doc Kane 氏が JTU に移籍することが報告された。

・MOU 締結状況（2019年9月末現在）

パンアメリカン・スポーツ機構（アメリカ大陸41か国のNOCが加盟）、ホンコンチャイナ、ニュージーランド、カナダ、オーストラリア、ノルウェー、アイルランド、英国、スペイン、フランス、韓国、アメリカ（11か国、アメリカ大陸41か国）

### 3) JSC/JOC 関係

以下事業の実施状況について大塚専務理事から報告された。

- ・JOC スポーツ指導者海外研修事業（福井英郎）
- ・つくば国際スポーツアカデミー（T I A S）海外インターン制度によるITUへのインターン派遣
- ・JSC 女性アスリート育成・支援プロジェクト（関根明子理事）
- ・スポーツ庁宮崎競技別NTC機能強化ディレクター募集
- ・JSC アスリートパスウェイ事業スタート（拠点整備、選手受け入れなど）
- ・JOC トップアスリート就職支援制度「アスナビ」採用進捗状況
- ・JOC ナショナルコーチアカデミー受講者
- ・JOC 国際人養成アカデミー受講者

### 4) ガバナンスコードの対応

標題について、JTUでも対策チームを発足させたことが、大塚専務理事から報告された。

### 5) 2020年大会・事業カレンダー

2020年は、オリンピック期間中を含む前後1週間は国際大会を国内外で開催しないのが原則であり、現在、関連大会を調整中との報告があった。

### 6) 事業関連予定

2019年度第3四半期の大会・事業予定が報告された。

[6] 次回理事会：2019年度（令和1年度）第4回理事会：

- ・日時：2019年12月6日（金）13時開始予定
- ・会場：JTU事務局（東京都新宿区）

[7] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、18時04分に閉会した。

議事録署名人：

(岩城光英・議長・会長・代表理事)	(印)	2019年	月	日
(荻原政吉・監事)	(印)	2019年	月	日
(大塚真一郎・専務理事)	(印)	2019年	月	日
(園川峰紀・理事)	(印)	2019年	月	日

=以上=